

みずから守るために

●問合せ先 協働推進課防災安全係 ☎72-2111内線253

近年、集中豪雨や台風による災害が全国的に頻発し甚大な被害をもたらしています。自然災害の発生を防ぐことは難しいですが、日ごろから予防対策をとることで被害を減らすことができます。自分・家族・地域の安全と安心のために、防災の正しい知識を身につけ災害に備えましょう。

みずから「情報を得る」

出水期を迎えると、短期間のうちに降る雨には特に注意が必要です。

1時間に20ミリ以上、また降り始めてから100ミリ以上の雨が降り続けるとさまざまな災害が出始めます。

台風や集中豪雨などで風水害が心配されるとき、行政機関ではさまざまな方法で市民の皆さんへ情報提供を行います。

また、テレビやラジオ、インターネットなどから正しい情報を得ることに努めましょう。

●防災メールまもるくん

気象情報や避難情報などのほか、防犯情報を配信します。携帯電話から mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp へアクセスし、登録してください。

QRコード



●緊急速報メール(エリアメール)

小郡市内にあるドコモ、ソフトバンク、auの携帯電話に、避難勧告などの緊急性の高い災害関係情報を一斉送信するシステムです。登録は不要ですが、設定は各携帯電話会社により異なります。詳しくは各携帯電話会社にお問い合わせください。

雨の強さと降り方

やや強い雨
10～20ミリ未満

話し声が聞こえにくくなります。長雨になりそうなら注意が必要。

強い雨
20～30ミリ未満

どしゃ降りの雨。傘をさしてもぬれてしまうほどの雨です。小さな川なら水があふれだしたり、がけ崩れの心配も。

激しい雨
30～50ミリ未満

山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。道路の規制も行われます。避難の準備を。

非常に激しい雨
50～80ミリ未満

滝のように雨が降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。傘は全く役に立たなくなり、車の運転は危険。

猛烈な雨
80ミリ以上

息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。大雨による災害が起こる恐れがあります。嚴重な注意が必要。

みずから「避難する」

市は、被害が発生するおそれがある場合、段階に応じて避難情報を発令しますが、「避難情報」が発令されていなくても、危険を感じた場合は直ちに避難しましょう。

●避難時の心得

- ・安全な避難経路の確認
- ・動きやすい服装、2人以上での避難を
- ・お年寄りなどの避難に協力を
- ・万が一逃げ遅れたときには、高いところへ避難

避難情報の種別

1 避難準備情報

人的被害が発生する可能性が高まった状況です。避難行動に時間を要する人は避難を

2 避難勧告

人的被害が発生する可能性が明らかに高まった状況です。通常の避難行動ができる人は、避難を

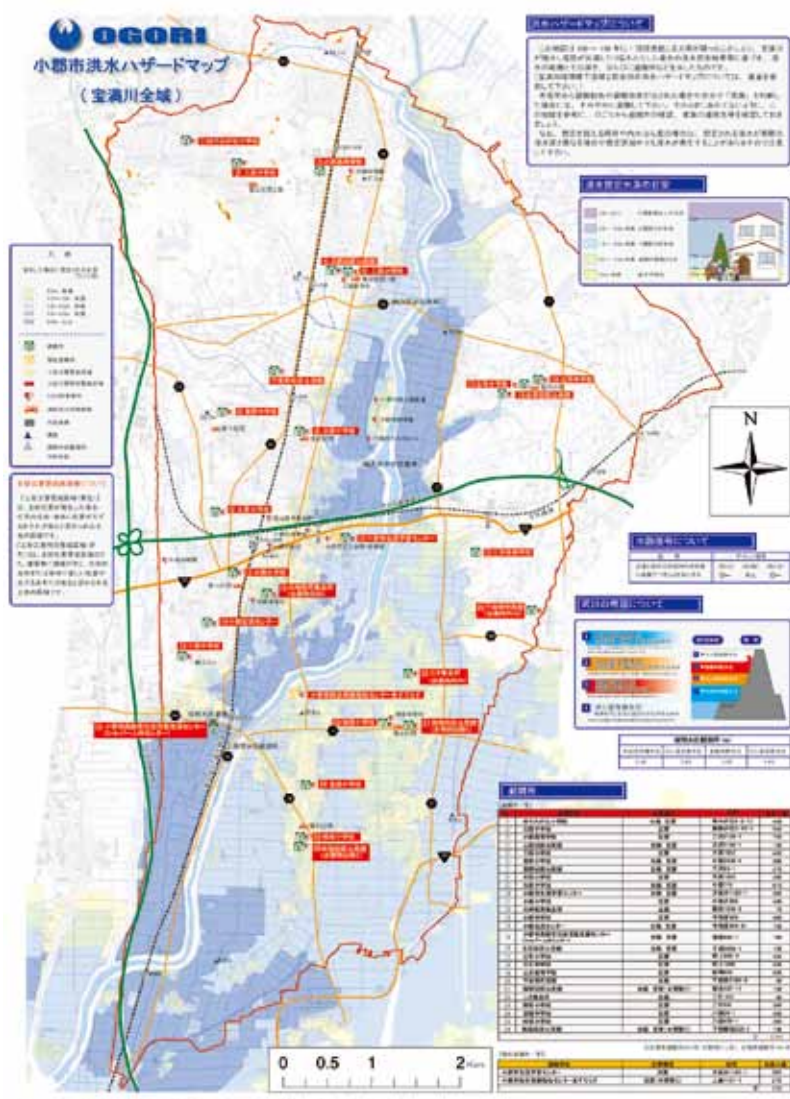
3 避難指示

人的被害が発生する危険性が非常に高い、または発生した状況です。避難していない人は直ちに避難を



みずから「備える」

災害を完全に予測・回避することはできません。しかし、日ごろから災害に対する備えをしていれば、被害の拡大を防ぐことができます。災害への備えを十分に行いましょう。



※ハザードマップは協働推進課(本館2階)で配付しています

ハザードマップには何が書いてある？

- **浸水想定区域と浸水想定水深**
河川が氾濫した場合に予想される浸水範囲と深さが色分けされています
- **避難場所**
指定避難所の一覧と災害種別ごとの使用可否などが記載されています
- **避難時の危険箇所**
大雨時発生のおそれがある土砂崩れの危険区域などが表示されています
- **わが家の防災メモ**
非常時持出品チェックリストや家族間でのいざというときの連絡先・避難場所などのメモ欄が記載されています

ハザードマップの効果的な使い方

ハザードマップは、災害が起きてから見ても間に合いません。普段から、災害時の避難場所や安全な経路を家族で確認することが大切です。ハザードマップを見ながら、家族で避難所まで歩いてみませんか。

非常時持出品は、家庭の状況にあわせて必要なものをつけ加え、非常持出袋に詰め、玄関や窓のそばに保管しておきましょう。

非常時持出品・備蓄品の準備

災害時に避難する際には、非常時持出品を持って避難することが重要です。それぞれの家族の状況に合わせて、チェックリストを活用して準備しましょう。また、いつでも確実に使用できるよう、定期的に点検することも大切です。

さらに、電気やガスなどのライフラインの切断も想定されます。ライフラインの切断を想定し、家庭内で7日分以上の食糧、飲料水などを備蓄しておきましょう。

非常時持出品リスト

- 貴重品
 - 食品
 - 生活用品
- 現金(小銭も)、預貯金通帳、印鑑、免許証のコピー、権利証書・健康保険証のコピー
 - 飲料水(1人1日3リットルを目安に)
 - 非常食、缶詰、レトルト食品
 - 携帯ラジオ(予備電池も)
 - 携帯電話の予備バッテリー
 - 懐中電灯(できれば家族1人に1つ)
 - ヘルメット、軍手または手袋、防塵マスク
 - 救急医療品
 - 持病の薬、ばんそうこう、包帯、消毒液
 - 体温計、胃腸薬、鎮痛剤、かぜ薬、解熱剤
 - ビタミン剤、ハサミなど
 - 衣類、下着、防寒着、靴下
 - 多機能ナイフ
 - 割り箸、紙皿、紙コップ
 - 缶切り、栓抜き
 - ライター、ろうそく
 - 歯磨きセット

